２０２４．７．１

７月　ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸ＹＭＣＡちとせ幼稚園

新しい年度が始まったばかりと思っていましたが、あっという間に１学期も最後の月を迎えました。月日の流れるのは早く感じますが、子どもたちは毎日の生活の中で、日々成長しているなと実感しております。

先日は２０１９年度以来、５年ぶりにバザーを６月に開催することができました。昨年度もバザーは実施しておりますが、コロナ禍が明けて久しぶりのバザーということで様々な検討をして１１月開催になりました。しかし、今年度は本来実施していた６月に戻すことにしました。新しい年度が始まってすぐ準備することとなり、協力いただく保護者の皆様にもバタバタと準備をお願いすることになるのですが、この時期だからこそ、新しい年度、クラスが始まり、同じクラスのお友だちや保護者同士のつながりがこのバザーを通じて深まって欲しいと願うところもあります。今回もバザースタッフの保護者の皆様を中心に、子どもたちが楽しめるように各クラスとも準備から当日、片付けまで関わっていただき、本当にありがとうございました。子どもたちや保護者同士のつながりが広がるきっかけになったのであれば幸いです。

バザー後もアンケートの協力をいただき、ありがとうございました。昔のバザーを知っておられる方からは、時期だけでなく、「地域の方や卒園児にもオープンした形にしてほしい。」「店舗数が少ないので、もう少し主食になるようなブース(やきそば、カレーライスなど)も出してほしい。」という意見もいただきました。確かに以前はそのような形で運営しておりましたが、コロナ禍を経て園児数はそのころから減少すると同時に、逆にお仕事をされる保護者は増加している現状があります。従来通りの設定にすることで、バザーを運営することの負担が増加することも予測できます。子どもたちにも日ごろから、「やりなさい」と指示、命令してさせるのではなく、自分が「やりたい」と自主的に行動をして欲しいと願っているが故に、バザーに関わる保護者の皆様にも強制的ではなく、自主的な思いで、やりたい、やってみようと思う積極的な行動が、何よりの成功の素にもなります。適度なラインがどこなのか正解はありませんが、保護者の皆様と共に主体的に実施できる内容を今後も検討していきたいと思います。

また、今回のアンケートでは、やりたくても仕事等でなかなかお手伝いできなかった保護者から、バザースタッフの保護者への感謝の気持ちがたくさん見受けられました。できる時にできる人がやる、できない時は無理をしない。このような思いで行動できると、持ちつ持たれつの関係は保たれ、してもらった時の感謝も相手に心から伝わるでしょう。子どもたちも保護者の皆様もいつも自分に正直であって欲しいと願っております。

【年主題】
「さあ、漕ぎだそう　奏でよう」

【年主題聖句】
「わたしは道であり、真理であり、命である。」
（ヨハネによる福音書１４章６節）

７月主題　「やってみる」

聖　句　「隣人を自分のように愛しなさい。」
（マルコによる福音書１２章３１節）